

# 「休眠預金活用事業」で地域の社会課題解決めざす

2009年1月以降の取引から10年以上取引がない休眠預金などを社会課題の解決や民間公益活動の促進のために活用する「休眠預金活用事業」が19年度にスタートした。休眠預金は指定活用団体である一般財団法人 日本民間公益活動連携機構(JANPIA)が資金分配団体として助成される。山梨県内では山梨県から民間公益活動を行う実行団体が助成される。山梨県内では資金分配団体の「認定NPO法人富士山クラブ」が、3月に同事業の助成を受けた県内の1期生となる3実行団体の活動がスタートした。山梨県は休眠預金活用事業と県内3実行団体の3年間の活動成果を紹介する。

## 「富士山クラブ」が県内窓口 民間公益活動を資金で後押し

JANPIAによる「休眠預金活用事業」は「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律(休眠預金等活用法)」に基づきスタート。休眠預金は金融機関から預金保険機構に移管され、その後JANPIAに交付される。実際はその実行団体にはJANPIAから資金分配団体を経て助成される(図1)。



整備したワーキングスペース「TUM」で開かれた起業に関する勉強会

### 「若者ブレイヤー」を育成

非営利のNPO法人河原部社(山梨県河原部市)の理事長は、地域づくりのキーパーソンとなる「若者ブレイヤー」の育成を目指す。若者ブレイヤーの育成を目指す「若者ブレイヤー」育成プログラムは、実践型若者ブレイヤー育成プロジェクトを実施し、拠点の整備や情報発信などを行う。中々、若者による活動は「ブレイヤー」が生まれ、事業を実現させる。地域の活力向上を目指す。活動が進むにつれて、地域課題の「解決」が実現する。

流出を背景に、起業やまちづくりなどを進めて地域で活躍する20・30代の若者ブレイヤーを生み出す。若者ブレイヤーは、まずは若者が集まる拠点を「TUM」(TUM: TOWN、UNITY、MOVEMENT)として整備し、拠点で利用者を増やす。若者ブレイヤーは、拠点で利用者を増やす。若者ブレイヤーは、拠点で利用者を増やす。若者ブレイヤーは、拠点で利用者を増やす。

### 宅配弁当で産後ママ応援

「ほっとするひと」を育てたい。そんな思いで富士山町の認定NPO法人スペース(富士川町)の理事長は、産後ママを応援する「産後ママ応援」の取り組みを始めた。産後ママは、産後から1年間は、産後ママを応援する「産後ママ応援」の取り組みを始めた。産後ママは、産後から1年間は、産後ママを応援する「産後ママ応援」の取り組みを始めた。



お弁当と、ほっとするひととを囲む「Photos」



多くの支援活動を生み出した「社会的処方」の学校

### つながり、学び合う場提供

少子高齢化や過疎化、格差拡大、複雑多岐化する社会課題を解決するために、さまざまな人を取り入れることが必要だ。南アルプス市のNPO法人bond place(南アルプス市)の理事長は、人々がつながり、学び合う場を提供する「社会的処方」の学校を始めた。社会的処方は、孤立感を抱える人、薬の処方だけでは解決できない人、社会的処方だけでは解決できない人、社会的処方だけでは解決できない人。

**認定特定非営利活動法人 富士山クラブ**

**休眠預金活用事業 実行団体を募集します**

悩みや困難を抱えた子どもと家族のための地域連携支援プログラム  
2023年度原油価格・物価高騰、子育ておよび新型コロナ対応支援助成枠

孤独・孤立、社会的・経済的不安、さまざまな悩みや困難を抱えて、山梨県で暮らしている子どもたちやその家族がいます。この社会課題に、地域で連携し、支え合いで取り組む実行団体を募集します。必要な支援、十分な支援が届き、誰もが悩みでなく楽しみや希望が、困難でなく安心や余裕が生まれる。人が地域でつながり、つながり続ける。そのような活動を求めています。食支援、学習支援、生活支援、体験活動、相談、居場所、アウトリーチ、これらを複合した活動など、民間ならではの取り組みを応援します。

**公募期間** 2024年4月1日(月)～4月19日(金)  
**助成期間** 2024年5月～2025年2月末日(約10カ月)  
**助成金額** 1団体300万円～500万円(予定)  
**助成総額** 3,000万円  
**採択団体数** 6～10団体(各団体への助成金額による)

山梨県で活動している非営利の民間公益団体(NPO、地域団体、企業など)法人格の有無は問いません。

**公募説明会** 4月5日(金)13時30分～15時  
やまなし地域づくり交流センター 大会議室  
公募説明会の動画は、後日限定視聴できます。  
公募期間中に個別事前相談を受け付けます。

公募についての詳細は、富士山クラブHP <https://www.fujisan.or.jp/>  
休眠預金活用事業ロゴをクリックしてください。

**お問い合わせは富士山クラブ本部まで** メール:kyumin@fujisan.or.jp  
電話:090-7250-7210(公募期間中の平日10時～15時)

**認定特定非営利活動法人 富士山クラブ**

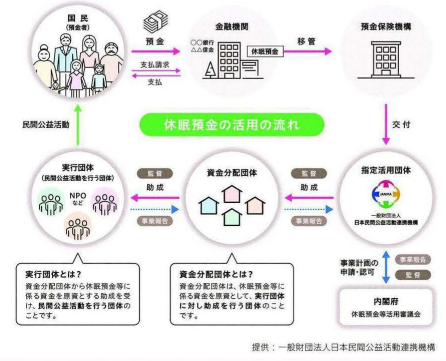
理事長 野口健

「環境団体なのに、なぜ資金分配団体として、地域の課題解決に取り組んでいるの?」とよく問われます。「環境」「環」は「わ」。人と人のつながり、人と社会とのつながりを意味するのだと思います。創立から25年、自然、暮らし、経済など多様な視点から、持続可能な地域づくりに取り組むことこそ、環境を守ることに通じていると考えます。長野県みらい基金と甲信地域休眠預金等活用コンソーシアムを結成、2020年に県内初の資金分配団体となりました。昨年5月には県内実行団体の活動現場を訪ね、スタッフの皆さんと意見交換しました。当クラブは、「富士山から日本を変える」を合言葉に活動していますが、変化は足元から、地域で起きた変化が山梨県全体を変えていく、その手ごたえを実感しています。

**一般財団法人 日本民間公益活動連携機構(JANPIA)**  
シニアプログラムオフィサー 宮嶋隆行

休眠預金活用事業では、助成終了後も支援が継続するための仕組みづくり、働きかけが求められます。本事業では多くの成果が生まれたのはもちろんのこと、実行団体がさまざまな工夫や努力を重ねた結果、コミュニティの形成、地域資源の掘り起こし、政策提言の実現など、事業の持続・発展に向けたさまざまな成果が生まれました。本事業は単に成果が素晴らしいだけではなく、実行団体に対して行われた資金分配団体の知見の提供は大変に丁寧かつ熱心に行われ、伴走支援のあり方の一つのモデルとなりました。

今後も取り組みの成果が進化・深化すること、他の地域への波及が進むことを願ってやみません。



提供：一般財団法人日本民間公益活動連携機構